

# 一般選抜 実施スケジュール

## [出願期間・方法]

出願書類は2023年1月5日(木)から郵送受付を行います。  
出願書類の提出方法は郵送(簡易書留)とし、出願締切日必着です。

## [入学手続期間・方法]

合格者は下表の「入学手続締切日」の所定の期限までに、インターネット出願のマイページからオンライン入学手続サイトにアクセスし、誓約の登録と入学手続情報登録を行い、指定された支払期限までに、所定の入学時納入金を納めて、入学手続を完了してください。

## ▶▶▶二段階手続

本学では一部の方式を除き、下表の「入学手続締切日」の所定の期限までにインターネット出願のマイページからオンライン入学手続サイトにアクセスし、二段階手続の登録及び入学申込金(入学金相当額)を納入することにより、入学手続期間を「二段階最終入学手続締切日」の所定の期限まで延期することができます。

※入学手続方法の詳細は「オンライン入学手続要項<合格後に表示>」を参照してください。

## A個別方式(以下A方式)

各学部等が独自に実施する一般選抜です。学部本校舎以外にも試験場を設ける場合があります。

## N全学統一方式(以下N方式)

同一試験日、同一問題で複数の学部(学科)を併願することができます。  
入学検定料が18,000円(医は60,000円、歯は24,000円)になります。第1期では地方試験場を設けます。

## C共通テスト利用方式(以下C方式)

大学入学共通テストの得点を利用して合否を判定します。

## CA共通テスト併用方式(以下CA方式)

大学入学共通テストと、学部独自の試験等の得点の合計点で合否を判定します。

## 学部

学部	学 科	方式	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日	二段階最終入学手続締切日
			(郵送必着)				
法学部	第一部(昼間部) 法律学科(法曹コースを含む)、 政治経済学科、新聞学科、 経営法学科、公共政策学科、 第二部(夜間部) 法律学科	A方式 第1期	1月31日(火)	2月 7日(火)	2月14日(火)10時	2月17日(金)	3月10日(金)
		A方式 第2期	2月14日(火)	2月19日(日)	2月24日(金)10時	3月 2日(木)	3月10日(金)
	第二部(夜間部) 法律学科	A方式 第3期	3月 6日(月)	3月12日(日)	3月18日(土)10時	3月24日(金)	
	第一部(昼間部) 法律学科(法曹コースを含む)、 政治経済学科、新聞学科、 経営法学科、公共政策学科、 第二部(夜間部) 法律学科	N方式 第1期	1月20日(金)	2月 1日(水)	2月 8日(水)10時	2月17日(金)	3月10日(金)
		N方式 第2期	2月24日(金)	3月 4日(土)	3月10日(金)10時	3月17日(金)	
		C方式	1月14日(土)		2月14日(火)10時	2月17日(金)	3月10日(金)

# 一般選抜 試験科目

## A個別方式(以下A方式)

各学部等が独自に実施する一般選抜です。学部本校舎以外にも試験場を設ける場合があります。

## N全学統一方式(以下N方式)

同一試験日、同一問題で複数の学部(学科)を併願することができます。  
入学検定料が18,000円(医は60,000円、歯は24,000円)になります。第1期では地方試験場を設けます。

## C共通テスト利用方式(以下C方式)

大学入学共通テストの得点を利用して合否を判定します。

## CA共通テスト併用方式(以下CA方式)

大学入学共通テストと、学部独自の試験等の得点の合計点で合否を判定します。

### 学部

学部・方式	学科・募集人員	試験日	受験教科科目数	教科	科目	配点	
A方式	第一部(昼間部) 法律学科(法曹コースを含む) 140名 政治経済学科 90名 新聞学科 40名 経営法学科 40名 公共政策学科 60名 第二部(夜間部)法律学科 20名	2月7日(火)	3教科 3科目	国語	「国語総合(漢文を除く)」	100	
				地理歴史 公民 数学	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学I(データの分析を除く)・数学II・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから1科目選択	100	
				外国語	「コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II」	100	
				※第1期は、上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。 ※第2期は、上記の得点を標準化得点に換算し、最高得点科目の得点を2倍にして、他の2科目と合わせて合否判定する。			
	第一部(昼間部) 法律学科(法曹コースを含む) 35名 政治経済学科 30名 新聞学科 10名 経営法学科 10名 公共政策学科 10名 第二部(夜間部)法律学科 20名	2月19日(日)	3教科 3科目	国語	「国語総合(漢文を除く)」	100	
				地理歴史 公民 数学	「日本史A」、「日本史B」、「世界史A」、「世界史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから1科目選択(※ただし、理科の「基礎を付した科目」は2科目で1科目分とする。)	100	
	※第1・2期では、2学科以上の併願を認める。併願する学科数には制限を設けない。第一部(昼間部)、第二部(夜間部)との併願も可能。第一部(昼間部)法律学科と法律学科法曹コースとの併願は不可。 ※第一部(昼間部)法律学科法曹コース志願者は、法曹コースへの出願が必要。なお、法曹コースに不合格となっても法律学科に合格することがある。						
	第三期(夜間部) 法律学科 15名	3月12日(日)		筆記試験(論理的思考力,資料読解力,基礎学力等を含む)		100	
	N方式		2月1日(水)		N方式参照		
			3月4日(土)		N方式参照		
法学部	第一部(昼間部) 法律学科(法曹コースを含む) 30名 政治経済学科 20名 新聞学科 20名 経営法学科 20名 公共政策学科 20名 第二部(夜間部) 法律学科 10名	大学入学共通テスト 1月14・15日(土・日)	3教科 3科目	国語	「国語(漢文を除く)」	200	
				地理歴史 公民 数学 理科	「日本史A」、「日本史B」、「世界史A」、「世界史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから1科目選択(※ただし、理科の「基礎を付した科目」は2科目で1科目分とする。)	100	
				外国語	「英語」	リーディング 100 リスニング 100	
				※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。ただし「地理歴史・公民」、「理科(基礎を付していない科目)」を合否判定に使用する場合で2科目受験した場合は、それぞれの第1解答科目のみを合否判定に使用する。「英語」についてはリスニングの成績も利用する。「国語」については、大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、合否判定する。 ※第一部(昼間部)法律学科と法律学科法曹コースとの併願は不可。 ※第一部(昼間部)法律学科法曹コース志願者は、法曹コースへの出願が必要。なお、法曹コースに不合格となっても法律学科に合格することがある。			
C方式	第一部(昼間部) 法律学科(法曹コースを含む) 5名 政治経済学科 5名 新聞学科 5名 経営法学科 5名 公共政策学科 5名 第二部(夜間部) 法律学科 5名	大学入学共通テスト 1月14・15日(土・日)	4教科 4科目	国語	「国語(漢文を除く)」	200	
				地理歴史 公民 数学 理科	「日本史A」、「日本史B」、「世界史A」、「世界史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2教科2科目選択(※ただし、理科の「基礎を付した科目」は2科目で1科目分とする。)	200 (100×2)	
※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。ただし「地理歴史・公民」を合否判定に使用する場合で2教科2科目を受験し、2科目とも合否判定に使用する場合以外については、第1解答科目のみを合否判定に使用する。「理科(基礎を付していない科目)」を合否判定に使用する場合で2科目受験した場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用する。「英語」についてはリスニングの成績も利用する。「国語」については、大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、合否判定する。 ※第一部(昼間部)法律学科と法律学科法曹コースとの併願は不可。 ※第一部(昼間部)法律学科法曹コース志願者は、法曹コースへの出願が必要。なお、法曹コースに不合格となっても法律学科に合格することがある。							

(備考)・A個別方式の各教科の採点方法について「科目・配点」欄に標準化得点である旨の記載のない試験の合否判定は、素点で行う。ただし、生産工学部A個別方式第1期の選択科目間においては平均点に15点以上の差が生じた場合のみ標準化得点を使用する。また、歯学部A個別方式の理科の科目間においては平均点に20点以上の差が生じた場合は、得点調整を行う。

・二次試験…一次試験(学力検査)の合格者に対して行う。